

6月
定例会

9月

12月

むらやま 議会だより

2018

vol.98

2018年8月1日
発行



加 全議案可決

平成30年第2回定例会は、6月15日から29日までの会期で開催され、条例8件 一般会計補正予算1件 その他の議案5件が原案のとおり全会一致で可決しました。

補正予算のポイント！

◎**楯岡小学校改築・楯岡中学校校舎整備に3千2百8万円**
楯岡小学校を1月に移転するため屋外工事や楯岡中学校の暖房などの集中管理システムの更新です。

◎**村山市民体育館床更新に6千7百32万円の助成**
市民体育館の床を更新するため、東京オリンピックホストタウンとして、スポーツ振興くじより助成されました。

◎**農業振興事業等に1千2百83万円**
経営体育成支援・園芸大国やまがた産地育成支援やさくらんぼの新苗木「山形C12号」の苗木購入補助として3分の1を補助するものです。



改築が進む楯岡小学校校舎

条例

◎**村山市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について**

◎**村山市指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について**

◎**村山市指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について**

◎**村山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について**

◎**村山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について**

◎**村山市市税条例等の一部を改正する条例について**
税法の一部改正に伴うものです。

◎**村山市保育所設置条例の一部を改正する条例について**
村山市しろはと保育園・新町保育園を統合し、民設民営保育所へ移行するものです。

◎**村山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について**
未婚のひとり親に係る寡婦控除のみなし適用について規定を整備するものです。

◎**村山市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について**
山形県医療給付事業補助金交付規定の一部改正に伴うものです。

一般会計予算

8,058万円を迫

総額 132億3,058万円

出資法人の経営状況報告

村山市土地開発公社

平成29年度は、楯岡鶴ヶ町に「スマイルタウン鶴ヶ町」19区画を造成し、北町グリーンタウンの残分譲地6区画とともに完売に向けて販売活動を行った。

その結果、「スマイルタウン鶴ヶ町」は、全19区画中4区画が契約済となった。残り15区画の内10区画については予約申し込みがあり早期に契約を行う予定である。

今年度の損益計算書については、当期純損失9百32万円となり、前期繰越準備金3億7千2百59万円を減額して整理を行った。

(財)村山市余暇開発公社

基点レクリエーションセンター、道の駅むらやまで各事業を展開した。

クアハウス基点

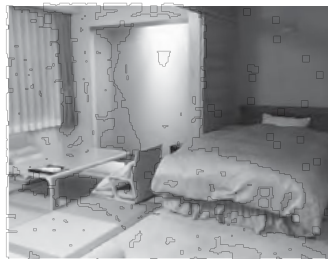
例年通りの事業のほか、東京オリンピックピック・パラリンピックのホストタウンとしてブルガリア新体操選手を迎えた。

また9月にお成りになられた三笠宮寛仁親王妃信子様の宿泊する部屋の改築工事を行った。

また昨年度の経営診断により、できることから実施したが抜本的な改革には至らず赤字に拍車をかける結果となった。

道の駅むらやま

道の駅むらやまは、昨年に引き続き地域連



改装された和洋室

携事業の一環として

「いも煮コロッケ」を商品化し販売を開始した。

オープン以来最低の売り上げ、利益となり打開策の一つとして収益の柱である売店の大規模リニューアルを実施したがマイナス幅は

縮小したものの回復には至らなかった。

(財)村山市体育協会

生涯スポーツ推進事業などのほか、指定管理者として体育施設管理運営に当たっている。

平成29年度は、自主事業としてパスラポ山形ワイヴァンズのスポーツ少年団スポーツ教室を開催した。共催事業としてローズキャンプや全国各流居合道さくらんぼ大会などを開催した。

なお、平成29年度末における法人全体の正味財産期末残高は、2千8百47万円と昨年度より63万円の増となった。

平成29年度一般財団法人村山市余暇開発公社の当期純利益金

(単位：円)

当期純利益会計区分	平成29年度	平成28年度	比較
法人・余暇開発事業	△451,690	△819,908	368,218
クアハウス基点・健康づくり事業	△35,887,190	△22,056,781	△13,830,409
道の駅むらやま	5,720,236	16,667,857	△10,947,621

全国市議会議長会より 議員表彰・感謝状

表彰状 大山正弘 議員
副議長 4年
感謝状 森 一弘 議員
評議員
" 長南 誠 議員
評議員



高橋 菜穂子

産地を育て、新規就農者の確保を

答弁 J Aなどと連携をしていきたい

Q 本市の農業振興の方針と直面する課題は。

A 本市にとって農業は重要な産業であり、将来性がある。直面している課題は、農業者の所得確保と担い手の不足である。様々な施策を国、県、市でも考えているが、なかなか結果が出ていない。本年度より評価と検証のための数値目標を設定し、情報収集のために農協との情報連携会議を行っている。今後基本戦略を作つて、農家を支援し就業意欲の向上を目指す。

Q 技術力と販売力のある「産地」の育成を支援し、その中に新規就農者を技術面と販売、そして生活面とトータルでサポートす



スイカの団地化を進める袖崎拝見地区

ることで、経営が安定するのでは。その上で市の重点作物の絞り込みが必要だと思いが進んでいるのか。

A まずはさくらんぼC12号の苗木の補助を行うことにした。今後は基本戦略と合わせて検討していく。

Q 新・道の駅の移転について。時期や構想、産直の設置については。

A インターチェンジの完成が当初の見込みよりも遅くなり、スケジュールなど検討中である。黒字経営ができるような道の駅となるよう考えていく。



菊池 大二郎

新体操クラブ設立の可能性は

答弁 設立を支援していきたい

Q 政府が示す幼児教育無償化に伴い本市の費用負担軽減が見込まれる。就学前だけでなく、就学後の子育て世代に対しても給付型や減免型のサービスを提供できないか。

A 財政を照らし合わせ、精査したい。

Q 文科省の発表によれば、スマートフォンなどの影響により子どもの視力低下が著しいとのこと。睡眠障害や自律神経の乱れを伴う「T眼症」も問題。先読みした対策も必要ではないか。

A 問題もあるがIT関連の力を植えさせていくことも重要だ。人材育成が東京五輪のレガシーになると考える。低年齢から利用できる新体操ク

ラブ設立の可能性は。低年齢から遊びながらバレエ・ダンスに取り組み、強豪選手を育成するブルガリア方式によるクラブ設立を2020年めどに支援していきたい。

Q 鳥獣被害防止のための電気柵の導入

A 県に対して働きかけをしていきたい。



国際的な新体操選手との貴重な交流



矢萩浩次

ドローンでまちづくりを

答弁 無限の可能性があり今後を注視

Q 第4次産業革命の一角を担う移動革命。人手不足や高齢者にとり今後の問題となる移動弱者の課題解消と、新たなビジネス創出が期待される。企業の取り組みも活発化する中、自治体におけるドローンの活用への期待が高まり、規制緩和や評価基準の策定と共に新しい産業の創出、物資輸送の他、防災・災害対応、農林業、観光、教育他の幅広い分野での利活用が期待されるドローンへの取り組みについて伺う。

A よその事例では震災や火災現場において活用されているが、これからの利活用については他の導入事例を参考にしていきたい。農業では、ドローンを

含めたICTを活用し、作業の省力化と高品質生産を実現するスマート農業の導入を推進していきたい。教育では、教材作成用ドローン活用について研究・検討を始めている。子どもの教育に創造性

が広がり可能性の大きいものと考えている。「ドローンでまちづくり」の可能性が大きいと思えるが。

A 無限にいろんな可能性があり、有効に活用できると考え、今後を注視したい。



幅広い分野での利活用が期待されるドローン



川田律子

市内のバス料金は無料にすべきでは

答弁 百円ぐらいにと考えている

Q 市内の交通手段は市営バス、山交バス、デマンドタクシー、無料の買物バスなど料金バラバラである。不公平感をなくすためにも統一した低料金か無料にすべきでは。

A 無料ではなく、低料金、百円ぐらいにと考えている。

Q 戸沢からの西コーズの買物バス実践の運行は、いつまで行うのか。またバス停だけでなく間口までの運行は出来ないのか。市内にはまだ交通網のはざままで不便な市民も大勢いる。空白地をなくすよう要望する。

A 買物バスの実践実験運行は、予算が通れば本格的な運行にしていく。高齢者を家の前で降ろすのは安全

性の点で問題があるが、今後の検討材料とした。空白地がないようにその方向で考えていく。

Q 社会現象として親の介護のために働くことをあきらめたミツシングワーカーと言われる人達が増えていく。40代50代の独身者

A 介護のために離職した人達についてはデータも把握していない。窓口は市の社会福祉協議会で相談窓口を設置している。



本格的運行予定の西部無料買物バス

一般質問

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



中里 芳之

学校給食無償化と自校直営給食堅持を

答弁 ご飯を食べさせるのは親の務め

きない。

Q 順序が逆だ。検証結果があつて拡大

するかどうかはその後だ。検証中というが、

これでは拡大ありきの検証にならざるを得ない。アンケート結果

からも、民間委託はマインラス評価の方が多く、

一番おいしいのは自校

直営給食であるのは明らか。子どもたちには

一番おいしくて安全な給食を提供すべきではないか。

A 自校給食は堅持するが、直営から業務委託については検証

作業をして決定する。

Q 学校給食調理業務の民間委託を楯岡小・袖崎小以外にも拡大することだが、

①調理業務民間委託の検証はどうなっているのか。②どの学校に拡大するのか。

A ①現在検証作業を行っている。②この場での答弁はまだで



自校給食の様子



大山 正弘

旧楯高跡地利用はどうする

答弁 経済効果が得られる拠点とする

Q 旧楯高跡地利用の市の判断と決意は、

旧楯高跡地土地利用ワーキングチーム

を設置し、民間事業者や市内外11の個人・企業・団体などから、多

様で興味ある提案を頂いた。今後は、民間企業による利活用を中心

に、県との跡地の貸与、譲渡の条件協議を積極的に進め、生産年齢世代が集い、経済活動が行われることを目指し、

中心市街地の活性化にも効果が得られる拠点とする。

Q 現在の諏訪山霊園は荒廃が目立つが

将来どうする考えか。

A 市営墓地として、格安で市民に墓地を提供、自らの墓地

を調査検討する。

Q 区画は自主管理である。一区画年会費千5

百円で百50万円で市負担10万円加えて百60万

円の収入で管理している。ほとんど倒木、草刈、ごみ処理などである。来年には頂上に駐車場を舗装整備し、今後全体的な整備の必要性を調査検討する。

Q 県に対する利活用の要望の結果は、

A 知事に対し、県立高校の学科再編は、地域の人材ニーズに合わせて行うべきと申し上げたが、看護科設置の予定はなく大変困難



みんなで考えよう、旧楯高跡地利用

百聞は一見にしかず!!



よりよい行政のための 視察活動 レポート

**総務文教常任委員会
行政視察**
5月8日～10日

○岡山県和気町

移住の「カギ」は

英語教育

教育を地方創生の柱にすえ、学校・保育園の統廃合などの教育環境の整備を行う一方で、A・L・T（外国語指導助手）を各小中学校に配置し、英語教育の充実を図っています。

また、移住相談などを担当する専門職員が役所窓口配置されており、移住者に向けたケアも充分に果たされています。

○山口県下松市

財政赤字から

人口増加のまちへ

下松市は過去に2度財政再建団体に指定されたながらも、人口・世帯数ともに増加し続けるまちへと変化を遂げました。

人口増加の主な要因として、近隣都市への



光市教育委員会前にて

利便性や鉄道・船舶関連の工業都市として発展してきた環境が挙げられます。また、県道路線延伸に伴い、周辺の商業開発が進み、子育て世代の獲得と満足度が向上しています。

○山口県光市

地域に開かれ地域に 支えられる学校づくり

保護者や地域住民が学校運営に参画する『コミュニティ・スクール』について研修。学校・地域・保護者がおのおのの課題を話し合うことで三者が同じ方向性で教育活動を支援でき、小中連携にもつながっています。

**産業厚生常任委員会
行政視察**
5月10日～12日

○兵庫県朝来市

17年、住みたい田舎

ランキング1位

毎年50人の社会増を目指して、まちに愛着と誇りを持ち貢献するひとが、魅力ある多様なしごとを生みだし、希望を持ち心豊かな暮らしを営むまちをつくり、まちがひとを呼び込む好循環を生んでいます。移住体験には空き家バンク制度が有効に活用されています。

○兵庫県小野市

0歳～高校3年生まで 医療費完全無料化

市民を顧客と捉え、より高度で高品質なサービスを低コストで提供するかを追求した市政運営、市長の経営感覚、バランスのとれた財政運営と健全な財政の維持がこの福祉医療制度を実現。加えて県内屈指の子育て支援の



オープンガーデン前にて

充実が人口の微減を可能にしています。

○兵庫県多可町

健康ウォーキング クアオルト

ドイツ発祥のクアオルトを手本とし、健康と産業を組み合わせた健康ウォーキング。気候性地形療法コースを開発し、地域資源の見直しも合わせ健康増進に取り組んでいます。

また、ガーデニングの愛好家達が自庭を公開しているオープンガーデンを現地視察。「たかのたから」は、ふるさと納税返礼品に特産品を認証する制度で、地場産品のブランド化を図っています。

**地方創生対策
特別委員会
行政視察**
5月21日～22日

○気仙沼市

地域経済の好循環を

気仙沼市の※DMO構築の経緯と、顧客データーベースシステムによるマーケティングの取り組みについて研修をしました。

DMOは観光のみならず、地域経済を好循環に導くためのものがあり、商工会議所、観光物産協会、市当局が意思決定機関を作り、スピード感をもって、熱意ある事務局体制で推進しています。

地元商店の利用でポイントが貯まる「気仙沼クルーカード」を導入し、市民以外を関係人口として、巻き込んでいく仕組みです。他にも気仙沼の主産業である漁業の一部の造船業の現場を訪れたり、漁師の体験ができたります。「気仙沼ちよい観

※DMO：官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織

きツアー」を実施しています。

翌日は、気仙沼市役所にて、市全体の復興そして地方創生の取り組みの概要について、話を伺いました。

気仙沼市は漁業関連の産業が8割を占めており、全て漁業につながる政策を考えています。

気仙沼から出ていった若者も、帰ってくるきっかけを探しているので、企業組合の求人活動を求人情報サイトで気仙沼の求人が目立つように支援しています。



気仙沼市役所にて

オランダ・ブルガリア市民訪問団
5月20日～29日
新体操チームを激励

総勢25名で訪問しました(団長・志布市長)。

オランダでは最上徳内に縁の深いシーボルトハウス、ライデン大学植物園、ゴッホ美術館などを見学しました。

ブルガリアでは渡辺駐日大使との懇談、新体操チームの練習見学、夜は本市主催の交流会を行いました。

また姉妹都市締結を検討中のカルロヴオ市を表敬訪問し、懇親会や同市主催の世界的なバラまつりに参加し、有意義な市民交流を行いました。



ブルガリア新体操チームとの交流

改革クラブ 視察研修
5月28日～30日

○秋田県藤里町

引きこもり支援について

引きこもりの方をどうやって探しているのかというと、民生委員が調べるのではなく、ヘルパー、ケアマネージャーが家庭に訪問した時、或いは地域の懇談会などの情報を元に探しています。

精神保健福祉士や社会福祉士の資格を持った人達で、就職できないで引きこもっている方に、情報提供をしたり体験学習の案内、職場実習のあっせんを行い、就職に結びつけていました。

○秋田県三種町

じゅん菜の生産、販売事業について

国内生産の8割以上を占める三種町のじゅん菜は、栽培面積百5ha、農家数は2百18戸ですが7割が後継者が

いないと答えています。就農や摘み手育成のために後継者育成事業として奨励金や受入農家に助成金を交付しています。規模拡大や新規

参加のためにほ場整備事業として上限百万円を限度に事業費の3割を助成しています。



転作田のじゅんさい沼

○秋田県湯沢市

地熱活用事業について

地熱の恵みを利用して完全無添加乾燥野菜を作っています。切り干し大根がメインでありましたが、その他にもナス、トマト、カボチ

ヤ、リンゴ、サクランボなどを乾燥しています。コンビニのローソンと共同で「地熱活用低コスト周年農業実証」でトマトを生産しています。

地熱水を利用して水耕栽培でサンチエやパクチー、レタスやみつ葉、小ネギを生産しています。

冬場には、室温は15℃以上に保てますが、湿度調整が出来ない事から80%と高くなる他日照時間が短く思うような生産量には至っていませんでした。



周年農業実証のトマト栽培

教育の森
6月5日

村山市活性化推進議員連盟(林活)は山の内地区内の「ふるさと教育の森」において、葉山中学校の生徒とともにスギやブナの植林を行いました。

「ふるさと教育の森事業」は県内では当市のみで実施し、37年目になります。自然や森林の大切さを学び「生きる力」を育む上で有意義なものです。

ふるさとの水や空気そして人間の文化やくらしを守る林業を子ども達に理解してもらいたいものです。



植林する葉山中生徒

議会活動

4月

- 3日 議会だより編集委員会
- 7日 小学校入学式
- 8日 中学校入学式
- 9日 山形県市議会議長会定期総会
- 11日 産業厚生常任委員会協議会
- 13日 公会計勉強会
議会運営委員会協議会
- 15日 市防災訓練
東北中央道開通式及び祝賀会
- 19日 東北市議会議長会定期総会
- 20日 村山市身体障害者福祉協会総会
- 21日 関西村山会総会
- 22日 村山市消防大演習
- 23日 全員協議会
- 26日 村山市統計調査員協議会総会
- 27日 村山市老人クラブ連合会定期総会
- 28日 県縦断駅伝大会応援

5月

- 1日 全員協議会
- 8日～10日 総務文教常任委員会行政視察
- 10日～12日 産業厚生常任委員会行政視察
- 14日 大わらじまつり実行委員会総会
村山市商工会通常総代会
議会運営委員会協議会
- 15日 議会運営委員会協議会
- 17日 村山市民生委員児童委員協議会総会
村山市芸術文化協議会総会
- 18日 全員協議会
議会だより編集委員会
- 19日 石崎朔子講演会、畠山愛理実技講習会
- 20日～29日 ブルガリア・オランダ市民訪問団出発
- 21日～22日 地方創生対策特別委員会行政視察
- 22日 知事を囲む市町村自治振興懇談会
- 25日 徳内ばやし振興会通常総会
- 28日～30日 改革クラブ視察研修
- 29日 全国温泉所在都市議会協議会総会
- 30日 全国市議会議長定期総会

6月

- 4日 総務文教常任委員会協議会
産業厚生常任委員会協議会
全員協議会
- 5日 ふるさと教育の森
議会運営委員会協議会
- 8日 重要事業県知事要望
- 11日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 15日 全員協議会
本会議
- 16日 ローズキャンプ歓迎レセプション
- 19日 一般質問
- 20日 一般質問
- 22日 常任委員会
- 24日 オリ・パラ大臣、駐日ブルガリア大使来市
ブルガリア新体操チーム公開演技会
- 25日 ホストタウンシンポジウム
- 26日 地方創生対策特別委員会
- 28日 常任委員会・議会運営委員会
- 29日 榎岡小学校上棟式
全員協議会
本会議

県縦断駅伝応援

4月28日

4月27日から29日に行われた第63回県縦断駅伝競走大会の2日目。市議団で『燃えろ闘魂』の横断幕を手に各選手を応援しました。本市からは井澤陽介選手、清水壱晟選手、秋生康祐選手、鈴木克彦選手が北村山チームとして出場。村山中継所からは、大勢の市民の声援を受けた選手が力強く出走し、北村山チームは総合6位でした。



声援を送る村山市議団

関西村山会

4月21日

大阪の新版急ホテルにて、第11回関西村山会が開催されました。会員および本市関係者を含め17名の参加でした。今年度は役員改選年度であり、新たな人事体制が発足。新会長には、工藤清氏（西郷・河島地区出身）が選出され、前任の小川徳男氏から引き継がれました。新体制のもと、さら



関西村山会の皆さんと

なる組織および交流強化が期待されます。

仙台村山会

7月1日

第15回仙台村山会定期総会がホテルメトロポリタン仙台にて開催されました。議長はじめ8名の議員が参加し、商工観光課、観光物産協会も帯同しました。参加された42名の会員からバラ公園、そば街道、徳内まつりで来市して交流を図っているとの多くの声をいただきました。村山のファンである会員をさらに大事にして



挨拶する田中貫幸仙台村山会会長

いきたいです。



市民の声



鈴木玲子さん
(大倉)

村山ファミリー劇場って何だろう。皆さん、「劇場って芝居をするところ？」なんて思っていないか。そうではなく、プロの生の舞台を観たり、自主活動として県の緑環境税を活用して森づくり事業を開催したりと楽しい事業を企画し、ファミリーで参加してもらう会です。もちろん、プロの舞台には経費が必要ですので、会費制で運営をしています。

さて、1986年「さあ～みんな集まれ♪ファミリー劇場へ～」と元気な歌声で始まって今年で32

年目を迎えました。全国組織の会で、当初は県内10劇場で活動していましたが、残念ながら現在は3劇場のみ運営しています。

私たちの活動は、小さい時から空気を感じられる生の舞台を鑑賞し、感性を身につけ、次世代に必要な人材を育てるためのお手伝いをしています。子どもたちのキラキラした目と笑顔を見られることは、おとなにとっても至福の時間です。

活動に賛同する賛助会員も募集中です。



ファミリー劇場の活動の様子

〈表紙写真〉

6月16日、西郷認定こども園の園庭にて運動会がありました。かけっこやリレー、親子競技やまり入れなど、子どもたちが元気いっぱい走り回りました。笑顔で一生懸命、がんばる姿が輝いていました。

◎西郷認定こども園（園長：須藤三枝子）

西郷児童センターは、今年度より認定こども園に移行しました。

23名の園児が通園しています。

【園児数】

年長組 11名、年中組 9名、年少組 3名



議会の傍聴へお気軽においでください。

◎本議会だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。会議の予定はホームページなどでお知らせします。

◎インターネット中継も配信中 詳しくは、

<http://www.gikaitv.net/dvl-murayama/index.html>

村山市議会→議会中継（ライブ中継・録画中継、外部リンク）より

委員長
副委員長
委員

秋葉 新一
川田 律子
石澤 祐一
高橋菜穂子
菊池大二郎
矢萩 浩次
犬飼 司

議会だより編集委員会